

My 薔薇図鑑を夢見てーその 1

島田俊幸

定年の 5 年前に会社で定年に備えての研修がありました。

そこで、経済や健康・お金の話等があり、
趣味の話もありました。

- ・個人で楽しむ趣味
- ・仲間と楽しむ趣味

両方持つことが必要だと言われました。

当時、これといった趣味がなかったので

コンデジで写真を撮ってみようと思い、ソニーのサイバーショット S70 を購入しました。

決め手は、カールツァイスのレンズです。

いろいろ撮影してみましたが一番のお気に入りがバラの花でした。

カラーバランスは、派手目ではありますが嫌味がなく透明感があるのが魅力です。

(添付写真“プロミス”を参照ください。)

欠点は、立ち上がりに時間がかかることとバッテリーがすぐ上がってしまうこと。

そこで、クラブツーリズムの撮影ツアーで講師の使用していたキヤノン Kiss デジタル N を購入することにしました。

一眼レフですので 17-85mm、70-300mm に加え 60mm マクロの 3 本で撮影をすることとなったのです。

被写体は、花が多かったですね。

そしていつしかバラにはまってしまったわけです。

ー次回へ続くー



My 薔薇図鑑を夢見てーその2

島田俊幸

キャノン Kiss デジタル N を使ってたくさん写真を撮りました。
そして、2007 年の 5 月に生田緑地にて一番のお気に入りのバラ写真が撮れました。
しかし、名札がなく品種名がわかりません。
秋の開催の時に会場に持参したのですが、
「写真では、本当の花色がわからないので無理。」
「春と秋で同じ木でも花色が違うので見つけられない。」などなど。
結局、品種名がわからないことがわかりました。
(私は、たぶん、カトリーヌ・ドゥヌーブだと思う。
データ キャノン Kiss デジタル N 、EF-S 60mm マクロ、1/160 秒 絞り f9.0)



カトリーヌ・ドゥヌーブ

これがきっかけとなり各地のバラ園にて、季節を変え、いろいろなバラを撮影し、見比べています。

新宿御苑、神代植物公園、大船植物園、鎌倉文学館などにも行きました。

機材も

本体がキャノン 7D、5D Mk.III、Kiss X7 と増え

レンズも 70-200mm、100mm マクロ、24-70mm と増えてゆきました



アイスバーグ

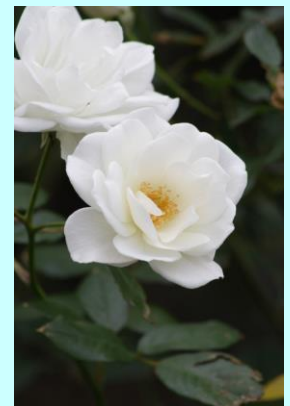
ふと気が付くとバラの種類が 100 種類を超えていました。

そこで「My 薔薇図鑑」として纏めたいと思うようになりました。

ところが、私の知識不足のためいくつかの障害が見えてきました。

- ・同一品種なのに名前が複数あるものがあるようです。

(アイスバーグとシュネービェチェン)



シュネービェチェン

・同じ呼び名なのに別の品種に見えるものがあります。

(聖火、せいか)

他にもあるかもしれません。いや、あると思います。



聖火



せいか

また、バラの花によっては、

・先はじめと満開で花の芯の部分の形が違う

(ニコール)



ニコール 1



ニコール 2

・咲きはじめと満開時で花の色が変わる

(チャールストンは、黄色から赤に変化する)



チャールストン

もちろん、イメージの変わらない品種がほとんどですが、
全部の状態を記録することは難しいし、
どの状態でもきれいと感じるわけではないので掲載写真の選択に苦労します。

・・・・・・「My 薔薇図鑑」作製の完成は、まだまだ先になりそうです。

－次回へ続く－

※ 次回は、バラ撮影の“拘り”について書いてみようと思っています。